



対応車種一覧（トヨタ自動車株式会社）

EV用コンバータ（JH-WE2301）と対応する車種の一覧を掲載しています。

- 接続可能車種および各項目については下記をご確認ください。
- 今後発売される車種については、全てが接続できるわけではありません。対応車種は、今後も順次追加してまいります。
- EVの機能や名称等に関して不明なものがある場合はご使用になる前に、必ずEVの取扱説明書をご確認ください。
- EV接続中はEV側でも各種システム（バッテリー保護機能等）を動作させるために、電力を消費する場合があります。消費をおさえない場合には、EVと接続解除して、充放電コネクタをEVの給電口から取り外してください。

■ トヨタ自動車株式会社

<接続可能車種>

車名	型式	年式	総電力量 ^{※2}	充電上限	放電下限 ^{※3}	停電時起動用ケーブル ^{※5}	自動ロック機能有無 ^{※7}
プリウスPHV ^{※1}	DLA-ZVW52	2019年5月～ 2020年7月式	8.8kWh	約100%	約0%	要	なし
	6LA-ZVW52	2020年7月～ 2023年1月式					
bz4X	ZAA-YEAM15	2022年5月式～	71.4kWh	約100%	約10%～ 30% ^{※4}	要 ^{※6}	あり
	ZAA-XEAM10						
レクサスRZ	ZAA-XEBM15	2023年3月式～	71.4kWh	約100%	約10%～ 30% ^{※4}	要 ^{※6}	あり
	ZAA-XEBM10	2023年11月式～					
レクサスUX300e	ZAA-KMA10	2023年4月式～	72.8kWh	約100%	約30% ^{※4}	要 ^{※6}	あり

※1 2019年4月式以前もしくは2023年2月式以降のモデルは、接続できません。なお、2019年5月～2023年1月式のモデルであっても、メーカーオプションである急速充電インレット（外部給電機能（V2H付））が必要です。

※2 総電力量はV2Hシステム接続時の実使用可能容量とは異なります。

※3 EVの電池保護ならびにV2Hシステムの保全のため、記載の放電下限近くまで到達した時点で放電を停止します。

※4 使用環境により変化します。

※5 「要」の車種の場合でも、太陽電池モジュールによる発電がある場合や蓄電池の電力がある場合は「不要」になります。EVの[EV給電モード]は本システムで利用できません。必ず停電時起動用ケーブルをご利用ください。

※6 停電時起動用ケーブルでEVからV2Hシステムへ停電時起動用の電力供給をおこなう際に、EVのバッテリー保護のため、電力供給を停止することがあります。マルチエネルギーモニタのトップ画面を表示後あるいはEV用コンバータの充電/放電ランプの点滅終了後、時間を空けずにEV接続をおこなってください。

※7 充放電コネクタを接続後、運転開始操作なしでEV接続が可能となる機能になります。太陽電池モジュールによる発電がなく蓄電池の電力もない場合（システムに太陽電池モジュールの接続や蓄電池の接続がない場合も含む）、本機能は無効となります。

EVがスリープモードに移行している場合、自動ロック機能は利用できません。EV用コンバータ本体側面の[自動運転]ボタンかマルチエネルギーモニタの[EV接続]ボタンを利用してEVと接続してください。

EVのトランクやドアの開閉により、スリープモードが一時的に解除され、予期せずEVが接続される場合があります。不要な接続動作がおこなわれないよう、EVと接続を解除したのちは充放電コネクタをEVの給電口から取りはずしてください。

<接続一時保留車種>

車名	型式	年式	総電力量※2	充電上限	放電下限※3	停電時起動用ケーブル※5	自動ロック機能有無※7
クラウン SPORT RS※8	6LA-AZSH37W	2023年12月式～	18.1kWh	約100%	約1%	要※6	あり

※8 接続時に充電および放電が停止することがあります。現在、トヨタ自動車(株)にて車両側の調査をおこなっており、対応方法が決まるまでの間、当社の対象車種一覧への掲載を一時保留致します。詳細については、トヨタ販売店または下記のトヨタ自動車 お客様相談センターへご連絡ください。

自動車に関するお問い合わせ：

- トヨタ自動車株式会社ホームページ (<https://toyota.jp/index.html>)

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター 0800-700-7700

- レクサスホームページ(<https://lexus.jp/>)

レクサスインフォメーションデスク 0800-500-5577